

まつぼっくり

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」



宇城市立三角小学校
学校だより 第12号
文責 校長 西村羊治
令和7年5月14日

学校教育審議員 授業指導訪問

5月14日（水）2・3時間目に宇城市教育委員会の学校教育審議員である樫木先生に4年生と2年生の授業を参観していただき、ご指導やご助言をいただきました。この目的は、「学校教育審議員は宇城市教育委員会の指揮監督下、市内小中学校の校長の要請に基づき、学校の経営方針・指導方針に沿って教員に対する指導・支援を行い、学校の活性化及び教員の指導力の向上を図る。」ことです。また、授業参観の視点及び指導・助言の視点として、

- ①「熊本の学び推進プラン」及び「『分かる・楽しい』授業づくり5つの心得」を踏まえ、児童生徒が問いを発し、課題に主体的に立ち向かい、学びを深めるための指導の工夫がなされているか。
- ②単元のゴールの姿を明確にした適切な単元構想に基づき、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善が図られているか。
- ③「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育行動指標を踏まえ、人権を大切にした授業がなされているか。
- ④授業の目標達成に向けて、ICTの効果的な活用がなされているか。
- ⑤授業の基盤となる、認め合える集団づくり、学習規律の定着、適切な学習環境づくりが図られているか。



4年生 算数



授業後、樫木先生とふれあう4年生

や管理職も経験されておられるので、いわゆる教諭への指導のプロです。授業を参観し指導すべき点を的確に捉えてくださり、各教諭の授業力向上に適切なアドバイスをしてくださいます。とても有り難いことです。「教諭は、児童生徒の教育をつかさどる。」ことが仕事ですので、人材育成に関して教諭の児童生徒への指導力をアップさせることは大切なことです。もちろん子供も大人も一緒に、やらされる勉強や研究・修養ではなく、自分から主体的にやるものにしなければ身につきません。職員も主体的に学習を継続していきます！

の5つがあります。この5つのことを身に付けるために、日々教職員は研究と修養に励みます。これは、教育公務員特例法の第21条に記されており、「教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」となっています。

今回は、4年生の算数（栗崎教諭）2年生の音楽（山口教諭）の授業を見ていただきました。審議員の先生は、教諭はもちろん、行政



2年生 音楽



授業後、樫木先生とふれあう2年生